

# 久米島町 仲地自治会

集落  
部門

## 棚田景観を活用したふるさとづくり (令和元年度認定)



棚田の水田景観と伝統的な米づくり、生活と人の営みが融和した集落。かつては稲作が盛んであった仲地集落では、棚田の再生に取り組み、地域ぐるみで景観の保全活動を積極的に行っており、癒しの風景がある。5月になると棚田の沿線に鯉のぼりを掲揚し、稲が青々としている水田を背景に鯉が泳いでいる田園風景は素晴らしく、棚田を象徴する恒例行事となっている。鯉のぼり掲揚期間中は、観光バスの往来もあり、島外からの観光客で賑わう。収穫した米は自治会行事や自家用米として活用されている。

棚田の除草作業、環境美化活動等を通して、集落への環境保全の意識を高め、田植え・稲刈り体験・環境学習等を行い、地域住民、老人会、婦人会、子供会との交流を図りながら、棚田の保全活動に取り組んでいる。

また、全島の力自慢が集まる「仲地全島角力大会」や「綱引き大会」、婦人会が踊る伝統舞踊の「仲地ハンタメー」など、仲地集落には活力ある伝統文化や行事があり、各々の団体の協力のもと大事に継承されている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



手植え作業



稲刈り作業



仲地ハンタメー



仲地全島角力大会①



仲地全島角力大会②



仲地敬老会